

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公表番号】特表2002-542519(P2002-542519A)

【公表日】平成14年12月10日(2002.12.10)

【出願番号】特願2000-612927(P2000-612927)

【国際特許分類】

G 10 L 19/00 (2006.01)

G 10 L 13/00 (2006.01)

【F I】

G 10 L 3/00 N

G 10 L 9/18 A

G 10 L 3/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成19年4月16日(2007.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 生成された音声中の欠落した音声情報の影響を隠蔽する方法であって、前記音声信号は、圧縮され、パケットで受信機に送信されたパケットの一つ又はそれ以上が前記受信機において受信されないことによって欠落するものであり、

音声情報を表す受信されたパケットに基づいて音声信号を生成するステップと、

前記受信機において、音声信号の形成にパケットが利用できないという判断に応答し、事前に形成された音声信号の一部を使い、前記利用できないパケットに対応する音声信号の一部を合成するステップと、

を含み、基本振動数が閾値より高い音声においては、基本振動数が閾値より低い音声よりも、前記合成ステップで見出された事前形成された部分のピッチ周期のサンプルの総数が大きいことを特徴とする方法。

【請求項2】 生成された音声中の欠落した音声情報の影響を隠蔽する方法であって、

前記音声信号は、圧縮され、パケットで受信機に送信されたパケットの一つ又はそれ以上が前記受信機において受信されないことによって欠落するものであり、

音声情報を表す受信されたパケットに基づいて音声信号を生成するステップと、

パケットが受信されず、前記受信機において音声信号の形成にパケットが利用できないという判断に応答して、事前に形成された音声信号の一部を含む前記利用できないパケットに対応する音声信号の一部を合成するステップと、

を含み、前記事前に形成された音声信号の一部は、前記音声信号の一部の合成を形成するために繰り返される前記事前に形成された音声情報のk個のピッチ周期に対応し、

基本振動数が閾値より高い音声においては、基本振動数が閾値より低い音声よりも、kが大きいことを特徴とする方法。